

かわさき

社協だより

ふれあいネットワーク



2024.1
No.101

発行：社会福祉法人 **川崎町社会福祉協議会**

〒989-1501 川崎町大字前川字北原23-1

TEL 0224-85-1222 FAX 0224-85-1224

E-mail kawasakit-shakyo@io.ocn.ne.jp

ほのぼの会を開催しました!!

Today was
fun!



Happy!



11月22日(水)、一人暮らし高齢者のつどい、ほのぼの会を開催し、福島県相馬市、宮城県岩沼市へ日帰り旅行に行っていました。4年ぶりの日帰り旅行となりましたが、当日は早くからお集まりいただき、とても楽しみにされていたことが伝わってまいりました。

海の幸や買い物を楽しんでいただき、帰りのバスでは、「来年も楽しみにしています」との声をいただきました。

今回は規模を縮小しての開催としたため、楽しみにされていたにも関わらず、参加できなかった方も多くいらっしゃいました。

今回のほのぼの会を踏まえ、来年は大勢の皆様が楽しめるように準備を進めていきたいと思います。

柴田農林高等学校川崎校



柴田農林高等学校川崎校の生徒による、和太鼓演奏、よさこい踊りを、今年度もデイサービスの利用者様に披露していただきました!!これまでは新型コロナウイルスの影響で、デイサービスセンターの窓越しでの披露でしたが、今回は体育館での披露となり、より一層迫力あるパフォーマンスが伝わり、涙を流して喜ぶ利用者様もありました。これからも、この素晴らしい伝統を引き継いでいってほしいと思います。

様々な形で世代間交流ができるように頑張っていきたいと思います。



迫力のある和太鼓の音が
利用者様の心に
響き渡りました。

息の合ったよさこいに、
目を奪われました。



素晴らしいパフォーマンスに
感動しました。
ありがとうございました。



ボランティア活動紹介

柴田農林高等学校川崎校のボランティア部は、様々な形でボランティア活動をしており、デイサービスセンターでも、窓拭きや草むしりをしていただいております。また、10月1日には有志のボランティアが、ドリームの郷の秋まつりに協力してくれました。



高いところも
しっかり拭いて
いただきました。



利用者様と一緒に
ミニ運動会に
参加しました。

合同炊き出し訓練

／考えよう！備えよう！／
もしも防災いざ



消火器の使い方をしっかりと学びました。



防災鍋を使って芋煮を作りました。

鍋の具材とおにぎりは、ボランティア友の会の会員と一緒に準備しました。



炊飯は薪割りから始めました。



体育館に避難所を作り、ドリームの郷の皆様を受け入れました。



完成した芋煮とおにぎりは皆さんで美味しく召し上がりました。



柴田農林高等学校川崎校と岩沼高等学園川崎キャンパスの合同避難訓練・炊き出し訓練が行われました。避難訓練、消火訓練を行った後、災害発生後、学校で待機することを想定しての炊き出し訓練と、避難所設置の訓練を行いました。

炊き出し訓練では、生徒が主体的に行動し、全員で協力しながら食材の準備や調理を行い、美味しい芋煮とおにぎりを作りました。また、避難所設置訓練では、避難スペースや、段ボールベッドを組み立て、実際の災害を想定した避難所を作っていました。

また、今回の炊き出し訓練には、川崎町ボランティア友の会と一緒に炊き出しを、ドリームの郷の利用者が避難者役として協力しました。地域の方が加わることで、より実践的な訓練になったのではないかと思います。

防災・キャップハンディプログラム

川崎町社会福祉協議会では、防災ふくしプログラム・キャップハンディプログラムを行っております。今年度に行ったものを紹介してきたいと思います。

富岡小学校では、5年生を対象に防災ふくしプログラムを、5日間行いました。

1日目
災害を学ぼう防災ビンゴ



防災ビンゴはすぐにそろえるチームもあれば、同じグッズが何個も来るチームも…。

2日目
防災クッキング



1つの鍋で水を節約しながら調理する防災クッキングを行いました。今回は、カレー、シチューを作りました。

KYTでは、災害時、通学路にはどのような危険があるかを調べました。バーチャルマップは、仮定の街の住民となって避難先の決定や、要援護者の支援、物資の確保などに挑戦します。各チームとも、しっかりと避難計画を作っていました。

3日目
KYT(危険予知トレーニング)バーチャルマップ作り



4日目
避難所体験
(マスク、スリッパ、段ボールベッド作り)



子どもたちが作った段ボールベッドを、教頭先生に体験していただき、頑丈さを実感していただきました。

5日目
5日間の振り返り、川崎の過去の災害、被災体験談



東日本大震災の当事者の体験談から、災害の恐ろしさや、心構えについて学びました。

災害はいつ起こるか分かりません。だからこそ、普段からの備えが重要になります。今回の防災ふくしプログラムを通して、防災について考え、備えられるようになってくれればと思います。

キャップハンディ体験

川崎第二小学校

川崎第二小学校では、全学年を対象にキャップハンディ体験を行いました。

1・2年生
非利き手体験



非利き手体験では、鉛筆で文字を書いたり、箸で小豆をつかるといったことに挑戦しました。

3・4年生
点字体験



点字器を使って、点字を書いてみました。その後、友達が書いた点字を読みました。

5・6年生
車いす体験



車いす体験では、車いすを自分で操作したい、押したい、フットの上は、進めのが大変そうでした。



岩沼高等学園 川崎キャンパス防災学習



エコキャンプみちのく防災プログラムが岩沼高等学園川崎キャンパスの生徒8名を対象に行われました。生徒たちは、語り部による講話や、柴田町社会福祉協議会の八島様を講師とした「避難所体験プログラム HUG」、簡易テントの組み立てや防災食の紹介等を通して、防災について学びました。



HUG とは？

避難所・運営・ゲームの略称で、設定された避難所の運営者として、避難された方々の配置やイベントに対して、限られた時間の中で速やかに対応していく体験です。

生徒たちからは、決められた時間での運営は大変だった。実際に避難所を運営することになったら、今日の体験を思い出して頑張りたいとの声をいただきました。

防災ふくしプログラム・キャップハンディ体験についてのお問い合わせがございましたら、

0224-85-1222 まで!!

ボランティア友の会活動紹介

ボランティア友の会では、様々な活動をしています。今回その一部を紹介したいと思います。

イベントへの協力

10月1日、ドリーム郷の秋まつりにて、芋煮を作りました。10月8日の青根温泉感謝祭では、そばの振舞いボランティアとして協力しました。10月15日のレイクサイドマラソンでは、雨の中、清掃や参加者の案内、給水などのボランティアを行い、大会を支えました。11月16日には、柴田農林高等学校川崎校・岩沼高等学園川崎キャンパスの合同炊き出し訓練に参加し、共に炊き出しを行いました。



ドリームの郷秋まつり



青根温泉



レイクサイドマラソン



炊き出し訓練

視察研修

福島県双葉町方面へ視察研修に行きました。東日本大震災・原子力災害伝承館では、原発事故当事者からの講話をしていただき、防災についての意識を高めました。また、放射線量の高い地域で測定器を使って、目に見えず、音も臭いも無い、放射線というものを実感しました。



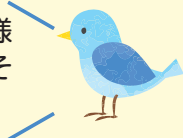
寄付をいただきました!!



全日本アートトラック連盟の、舞姫一族様が11月5日に川崎町でチャリティーイベントを行い、川崎町社会福祉協議会に130,485円の寄付をいただきました。



旧前川小学校で行われた雑貨市で、丸正精建様から8,936円、サンモータース様から2,839円、それぞれ寄付をいただきました。



その他にも、多くの方々から寄付をいただいております。いただいた寄付は、地域福祉のために活用させていただきます。ありがとうございます。



かわさきシニアスポーツ大会



11月29日(水)、川崎町B&G海洋センターにて、川崎町老人クラブ連合会主催による「第26回かわさきシニアスポーツ大会」が行われました。今年は4年ぶりの開催となりましたが、皆さん楽しく真剣に競技に取り組んでいました。白熱した大会は、黄色チーム(小野・小沢・川内三)の優勝で幕を閉じました。参加した皆さん、お疲れさまでした!!



～地域福祉は住民相互の支えあい～ 寒糰づくりをしてみませんか?

- ・目的 栄養バランスのとれた食生活への興味関心の助長と参加者相互のネットワークづくりを目的に開催します。
- ・日時 令和6年1月30日(火) 10:00～12:00(受付9:30～)
- ・場所 川崎町健康福祉センター 2階 調理室
- ・内容 寒糰づくり
- ・講師 食育コーディネーター 岡 伸子 氏
- ・対象者 ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯、寒糰に興味がある方
- ・参加費 材料代 500円(保険代含む)
- ・申込み 令和6年1月23日(火)までに社協事務局へ申込み願います。
TEL:85-1222 / FAX:85-1224

一緒に
つくりませんか?



寒糰とは?

糰(もち)米、天然塩、さらめを使用し寒の間(1月中旬～下旬の間)に仕込み、3ヶ月間寝かせることによって使うことができます。調理方法は、野菜にまぶして漬物や、肉や魚にまぶして焼いて食べる方法などがあります。

令和5年度 川崎町社会福祉協議会会費 にご協力ありがとうございました。

～地域福祉事業は皆様の会費によって支えられています。～

今年も住民の皆様のあたたかいご協力をいただきまして心より御礼と感謝を申し上げます。
また、取りまとめいただいた行政区長さんをはじめ、関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

	行政区名	一般会費 加入世帯数	会費納入額		行政区名	一般会費 加入世帯数	会費納入額		行政区名	一般会費 加入世帯数	会費納入額
1	裏丁上	142	142,000	9	野上	159	159,000	16	川内三	58	58,000
2	裏丁下	163	163,000	10	古関	45	45,000	17	本砂金	85	85,000
3	本荒町	196	196,000	11	笹谷	21	21,000	18	小沢	22	22,000
4	中新町	206	206,000	12	小野	67	67,000	19	支倉上	111	111,000
5	前川東部	78	78,000	13	川内一	142	142,000	20	支倉下	50	50,000
6	前川西部	87	87,000	14	川内北川	194	194,000	21	碁石	82	82,000
7	青根	52	52,000	15	川内二	56	56,000	22	支倉台	142	142,000
8	立野	128	128,000								

一般会費加入総世帯数：2,286／合計額：2,286,000円

令和5年度 赤い羽根共同募金 運動期間 令和5年10月1日～12月31日

赤い羽根募金は、宮城県共同募金会に送金し、次年度の福祉事業の財源として配分されます。
主に社会福祉協議会や社会福祉施設、NPO、ボランティア団体等、また、地域住民同士の
支えを生み出す地域福祉活動にも使われております。皆様のご協力ありがとうございました。

12月1日現在

	行政区名	赤い羽根 募金世帯数	募金額		行政区名	赤い羽根 募金世帯数	募金額
1	裏丁上	142	71,000	12	小野	72	43,200
2	裏丁下	163	97,800	13	川内一	150	90,000
3	本荒町	195	117,000	14	川内北川	198	118,800
4	中新町	206	123,600	15	川内二	56	33,600
5	前川東部	78	46,800	16	川内三	58	34,800
6	前川西部	87	52,200	17	本砂金	85	51,000
7	青根	51	30,600	18	小沢	20	12,200
8	立野	128	64,000	19	支倉上	111	66,600
9	野上	159	95,400	20	支倉下	51	30,600
10	古関	44	26,400	21	碁石	84	50,400
11	笹谷	21	12,600	22	支倉台	126	63,400

赤い羽根募金総世帯数 2,285／合計額：1,332,000円

職域・団体募金

- 川崎町役場職員一同
- 川崎町社会福祉協議会職員一同
- 国保川崎病院職員一同

合計 36,097円

学校募金

- 富岡小学校児童一同… 399円
- 川崎小学校児童一同…7,188円
- 川崎第二小学校一同…2,904円
- 柴田農林高等学校川崎校生徒一同…3,108円

合計 13,599円

個人募金

- 丹野 ひろみ様……6,281円

合計 6,281円

その他

- エコキャンプみちのく……194円

合計 194円

赤い羽根共同募金合計額：1,388,171円

かわさき

社協だより

2024年1月
【No.101】

発行：社会福祉法人川崎町社会福祉協議会 川崎町大字前川字北原23-1 TEL.0224-85-1222

ホームページ <https://www.kawasaki-shakyo.com> または 川崎町社協 で 検索 してください

制作/印刷：大場印刷株式会社